

岩手県立大学大学院  
総合政策研究科  
博士前期課程

令和5年度(第2次募集)

入学試験問題

専門科目

志願区分：留学生

注意事項：

1. この試験は、10時00分から12時00分までである。
2. 「始め」の合図があるまで、問題を見てはいけません。
3. 試験中に、問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合には、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 解答は、黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入しなさい。万年筆、ボールペン等は使用してはいけません。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

専門科目

注意事項：

1. ①から③の3題のうち、2題を選んで解答しなさい。3題解答した時は採点しません。また、使わなかった解答用紙は持ち帰りなさい。
2. 解答は、問題別にそれぞれ別の解答用紙に書きなさい。
3. 各解答用紙の所定の欄に、志願区分、受験番号および氏名を記入しなさい。

- ① 都市を計画していく上では、例えば、人口、気候、産業といった重要な「要素」がいろいろあるが、その内容は都市によって異なる。その上で、実際の都市を提示しながら（国内外を問わない）、個々に、あるいは複数の都市を比較しながら、都市計画を考える上でこの重要な「要素」について1,000字以内で論じなさい。ただし、ここでいう重要な要素については一つに限らず、多数について言及しなさい。

2 地方では、人口減少や自動車利用増などによって、公共交通の持続的な運営が困難となっている。高齢者が第一当事者となる交通事故削減や運転免許返納後の交通を考えると、公共交通の重要性は年々増している。そこで、地域公共交通活性化再生法では、全ての地方自治体に地域公共交通計画の策定を努力義務としている。ただし、全て個別につくる必要はなく、生活圏が一体となっているような複数の地方自治体が、一つの計画をつくることもある。

この地域公共交通計画をつくるためには、地域住民や交通事業者、道路管理者など要件となっているメンバーで構成される法定協議会での検討が必要であるが、地域に相応しい公共交通サービスを実現するために把握しなければならない地域の現状について、どのような内容を調査すべきか、調査方法も含めて600字以内で概説せよ。

3 以下の間に答えなさい。

問1 あなたの住む都市の真下で巨大地震（直下型地震，震度7相当）が生じたとする。このときあなたの住む都市にどのような被害・影響が生じるかを500字以内で説明しなさい。このとき地震によって生じる一次災害だけでなく，二次災害についても説明すること。なお，二次災害とは一次災害をきっかけに被害が連鎖的に発生する災害現象を指すものである。

問2 あなたの職業があなたの住む都市の行政職員であったとする。あなたの住む都市での巨大地震による被害を低減するために，行政が取りうる政策を以下の各視点に基づいて提案しなさい。

- (1) 都市の住民の命，住民の財産を守るための政策を300字以内で提案しなさい。
- (2) 都市の建築物，社会インフラを守るための政策を300字以内で提案しなさい。

問3 あなたの職業が不動産業職員であったとする。あなたの顧客が物件の紹介を希望しており「地震に強い」ことを第一条件として提示した場合，あなたは不動産業職員として，どのような仕様の物件およびどのようなアフターサービスを紹介するか。その物件仕様・サービスの説明と，その理由を500字以内で説明しなさい。